

### 1) 調査の主旨

高山本線の利用者や地域のニーズを把握するために、これまでに実施した各種調査結果の整理・分析を行うもの。

### 2) 調査の概要

#### ①高山本線沿線住民アンケート

実施主体：富山市・JR西日本

実施年度：令和元年度（R2.1～2実施）

対象地域：西富山～猪谷各駅の沿線地域（1km或は2km圏）の町内（無作為抽出）

対象者：15歳以上の市民

配布枚数…3,750部、回収枚数…1,460部

→回収率…38.9%

#### 主な調査項目

- ① 通勤・通学目的および通勤・通学以外の目的での外出（外出頻度、外出目的、外出先・移動手段）
- ② 高山本線および高山本線以外の満足度と重要度
- ③ 高山本線および路線バス等の利用頻度について

### JR高山本線の利用状況等に関する住民アンケート調査

2020（令和2）年1月 富山市・JR西日本

#### 【調査の趣旨とご協力をお願い】

富山市では鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に都市の諸機能を集積させる「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を推進しております。

JR高山本線は富山市の重要な公共交通軸であり、これまで、JR高山本線の活性化社会実験と沿線のまちづくりを進め（H18～H22）、実験終了後は、引き続き、富山市とJR西日本が連携し、活性化事業として列車の増便やパーク&ライド駐車場の継続設置等に取り組んでいるところであります。

この度、JR高山本線の維持・活性化に向けた今後の取組みの参考とするため、沿線にお住まいの皆様を対象に、JR高山本線の利用実態や利用者ニーズ等についてのアンケート調査を富山市とJR西日本が共同で実施させていただきたいと思っております。

お忙しいところを誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくご協力申し上げます。

#### < ご回答にあたって >

- ・ご回答は、あてはまる番号に○をつけるか、（ ）や  の中に具体的にお書きください。
- ・ご回答いただいた内容は統計的に処理し、本調査の目的以外に使用いたしません。
- ・ご回答いただいたアンケート用紙は、同封いたしました返信用封筒に封入の上、**2月7日（金）迄**に郵便ポストに投函していただけますようお願いいたします。（切手は不要です）  
なお、ご回答者の中から抽選で100名様にJCBギフトカード（商品券1000円分）をプレゼントさせていただきますので、ご希望の方は次ページの内容をご確認の上、必要事項をご記入ください。

#### ■調査実施主体（お問合せ先）

富山市活力都市創造部交通政策課 担当：久保、古村（TEL 076-443-2192）  
西日本旅客鉄道株式会社金沢支社企画課 担当：長谷川、福地（TEL 076-254-3009）

#### 【賢いクルマの使い方】公共交通とクルマの利用はバランスが大切です

クルマは便利ですが、頼りすぎると、交通渋滞の発生やCO<sub>2</sub>排出量の増大による環境への影響などが懸念されます。一方、公共交通を利用することで、道路交通や環境負荷の軽減が図られるとともに、一人ひとりの歩く機会が増え、健康増進や人との出会い・交流が増えることが期待されます。一人ひとりがクルマの利用を見直し、クルマと公共交通の上手な使い分けを心がけてみませんか。

#### 公共交通 こんな時に利用してみませんか

- ・少し運動不足だと感じているとき…ダイエットに効果的です
- ・飲み会などの予定があるとき…タクシー・代行料金などが節約できます
- ・雪道や凍結した道など、道路状況が悪いとき…事故を防ぎ、渋滞のイライラも解消できます
- ・子どもや高齢者だけで移動するとき…年齢を問わず誰でも使えます

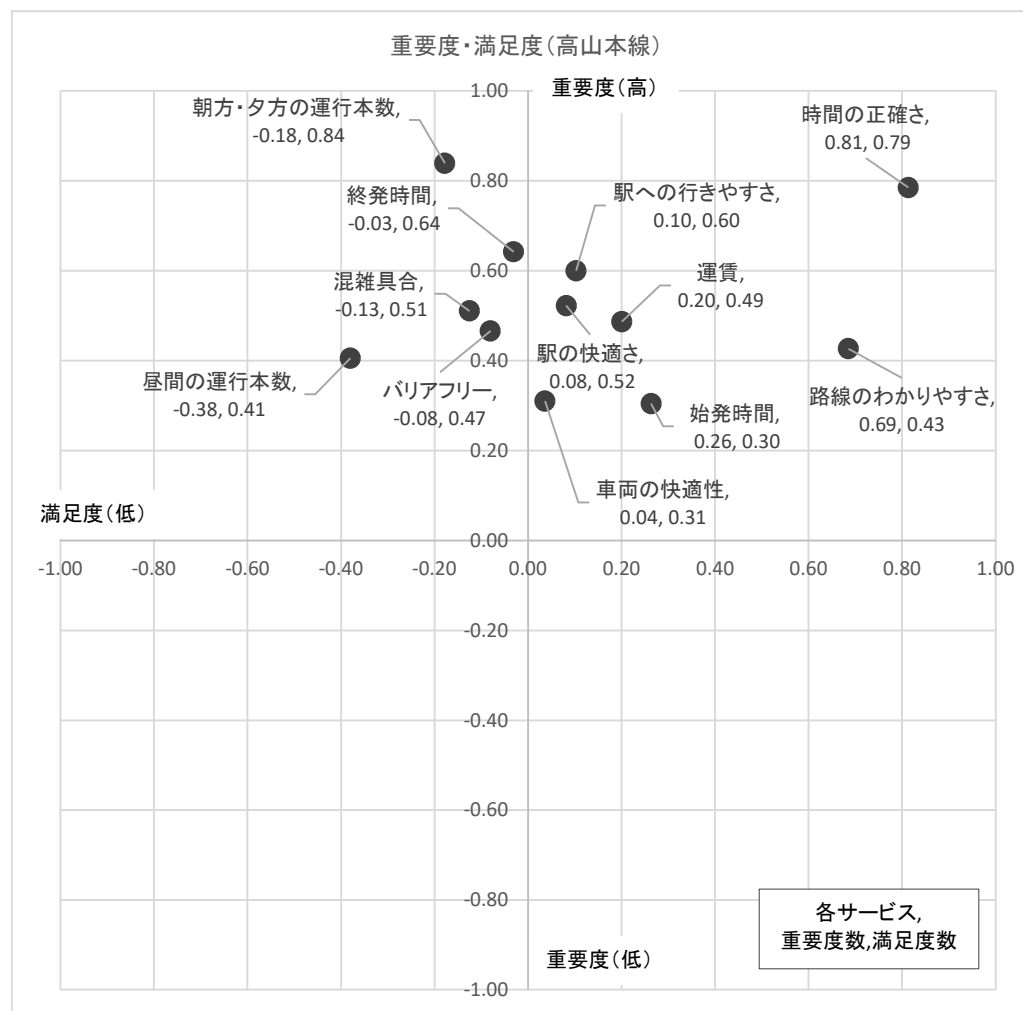


## 2-(1)重要度・満足度との相関図

○重要度は高いものの、満足度が低いサービスとして、「朝方・夕方の運行本数」が挙げられており、重要度がやや高いものの、満足度が低いサービスは「昼間の運行本数」が挙げられている。

○満足度はやや低いが重要度が高いサービスは、「終発時間」、「混雑具合」、「バリアフリー」の順で挙げられている。

○満足度は高く、重要度が高いサービスは、「時間の正確さ」が挙げられており、満足度はやや高く、重要度がやや高いサービスは、「路線のわかりやすさ」が挙げられている。



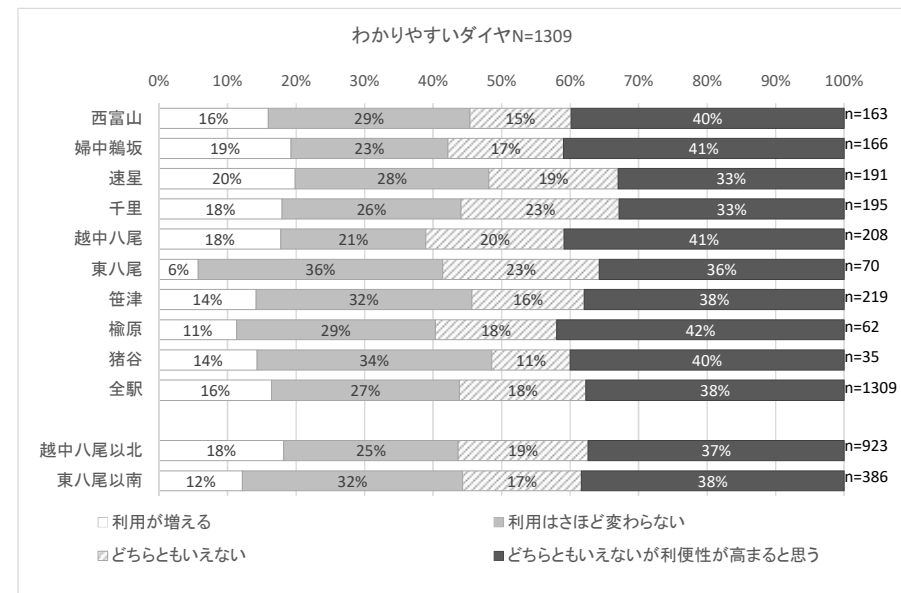
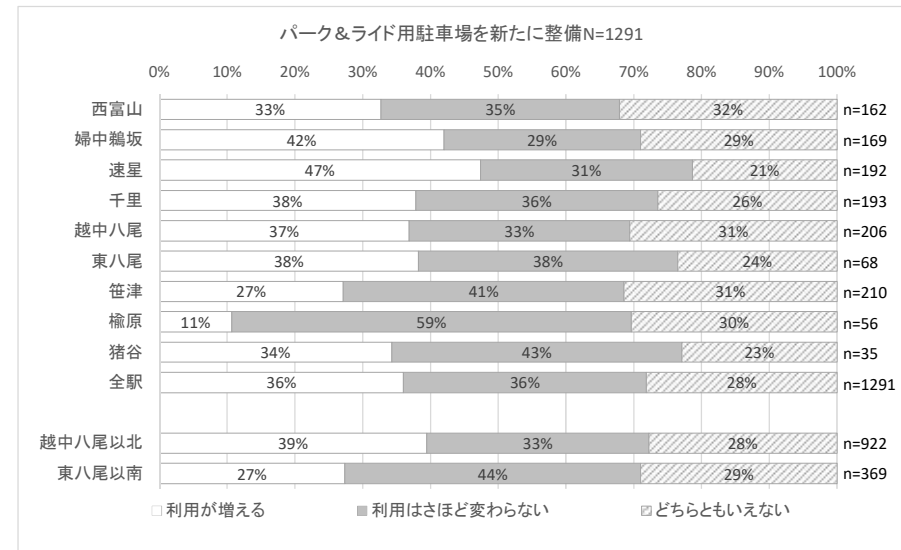
\*満足度は、「満足」：2点、「やや満足」：1点、「ふつう」：0点、「やや不満」：-1点、「不満」：-2点として数値化。  
重要度も同じく、「重視」：2点、「やや重視」：1点、「ふつう」：0点、「あまり重視しない」：-1点、「重視しない」：-2点として数値化。

## 2-(2) 利便性向上策に対するニーズ ①P&R駐車場 ②わかりやすいダイヤ

○高山本線のP & R駐車場を新たに整備（拡張を含む）した場合は、「利用が増える」の回答者が多い駅が、速星（47%）、婦中鶉坂（42%）などであり、越中八尾以北の「利用が増える」の回答者が多いことがうかがえる。

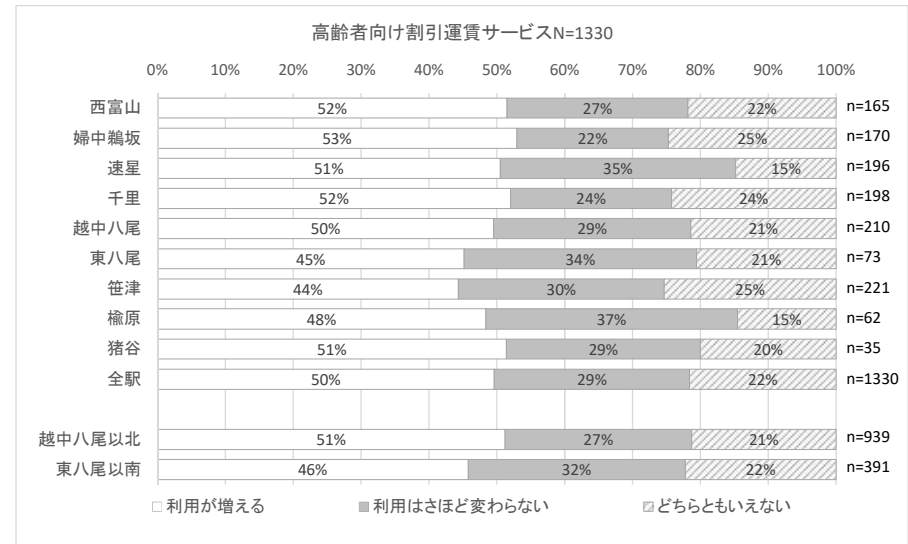
○高山本線のわかりやすいダイヤ（例：毎時の発着時間が同じなど）は、「利用が増える」の回答者が多い駅が、速星（20%）などであり、越中八尾以北の「利用が増える」の回答者が多いことがうかがえる。

○また、「どちらともいえないが利便性が高まると思う」の回答者が、各駅とも40%前後であり、一定の評価の傾向はうかがえる。

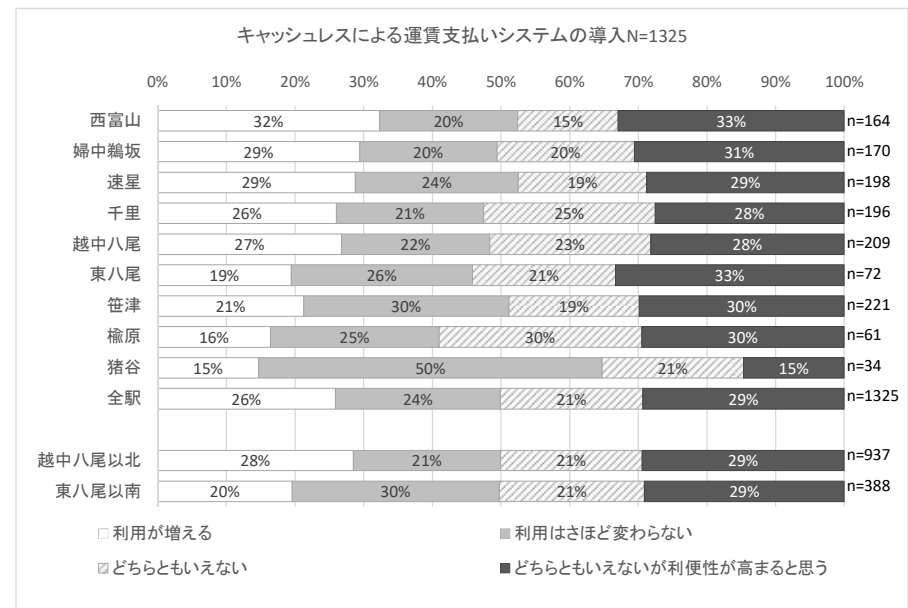


## 2-（2）利便性向上策に対するニーズ ③運賃施策 ④キャッシュレス

○高山本線の高齢者向け割引運賃サービス（例：おでかけ定期券）の導入は、各駅とも「利用が増える」の回答者が50%前後と多く、一定の評価がうかがえる。



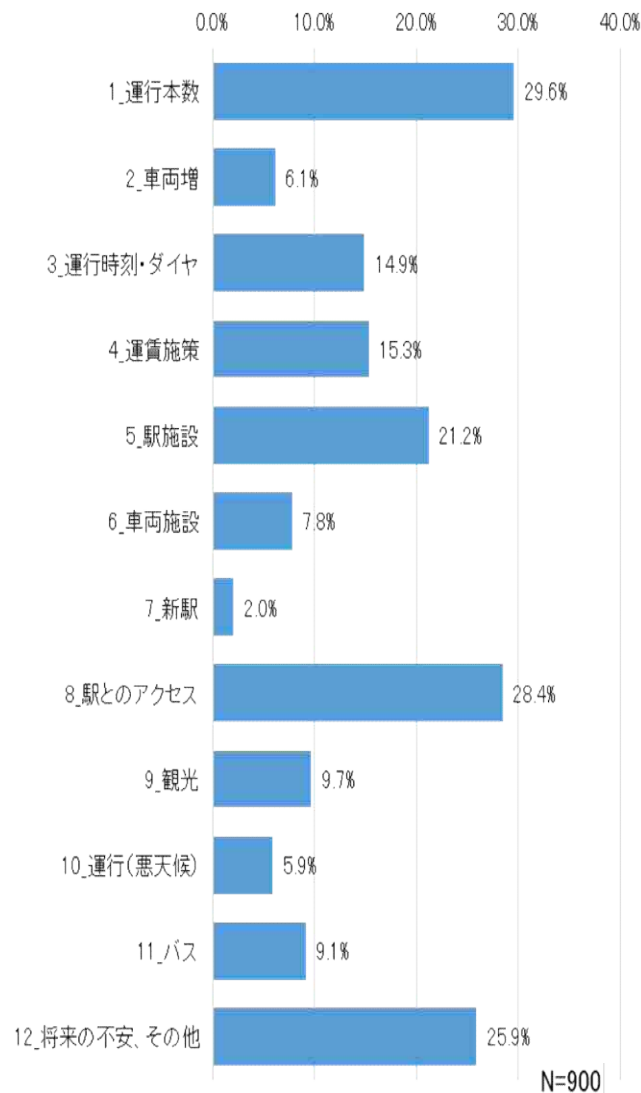
○高山本線のキャッシュレス（ICカード等）による運賃支払いシステムの導入は、「利用が増える」の回答者が多い駅が、西富山（32%）、越中鵜坂（29%）、速星（29%）などであり、越中八尾以北の「利用が増える」の回答者が多いことがうかがえる。



○また、猪谷は「利用はさほど変わらない」の回答者が50%であるが、その他の各駅は「どちらともいえないが利便性が高まると思う」の回答者が30%前後であり、一定の評価の傾向はうかがえる。

## 2-(2) 利便性向上策に対するニーズ ⑤ 自由意見

○アンケートの自由意見欄に寄せられた意見の内、「運行本数」「駅とのアクセス」「将来の不安など」に対する意見が多い。主な意見は下表のとおり。



| NO | 分類                   | 主な意見(抜粋)   |
|----|----------------------|--|
| 1  | 運行本数                 | ・増便(30分に1本)【西富山～越中八尾間】、<br>・増便(1時間に1本)【東八尾～猪谷間】<br>・朝夕ピーク時の増便(混雑緩和)                  |
| 2  | 運行車両数                | ・車両編成数の増加(特に朝夕ピーク時の混雑緩和)   |
| 3  | ダイヤ・運行時刻等            | ・運行時間短縮(快速列車の導入、走行速度の向上)<br>・乗継改善(北陸新幹線(特に始発・最終便)、あいの風とやま鉄道など)                       |
| 4  | 運賃施策                 | ・キャッシュレス対応(特にICカードへの対応)<br>・割引運賃の導入(高齢者向け割引、乗継割引等)                                   |
| 5  | 駅等施設                 | ・駅のバリアフリー化(EV整備、わかりやすいホーム案内)<br>・待合室の充実(空調設備、自販機設置など)<br>・駅周辺環境の充実(魅力ある店舗、売店等)       |
| 6  | 車両施設                 | ・車両ドアの自動化<br>・車両バリアフリー化(車両内や車両-ホーム間の段差解消、つり革等の増設)<br>・新型車両の導入                        |
| 7  | 新駅                   | ・富山駅～西富山駅間等 6箇所  |
| 8  | 駅へのアクセス<br>他交通機関との乗継 | ・交通結節機能の強化(バスとの連携充実など)<br>・駅のアクセス経路の整備【西富山】【婦中鶉坂】、街灯の増設【千里】<br>・パーク&ライド駐車場の整備(拡張含む)  |
| 9  | 運行(悪天候時)             | ・悪天候(雪・雨・風)に強い路線<br>・運休時の対応強化(代替輸送の確保(バスとの連携)、迅速な情報発信)                               |
| 10 | バス                   | ・速星-ファボーレ間のシャトルバス設置<br>・コミュニティバスの運行増便<br>・路線の増設(小型車両でもよい(ワゴン車等))<br>・運行増便(朝夕ピーク時、昼間) |
| 11 | 観光                   | ・観光・企画列車の導入<br>・観光地との連携(八尾、高山、神岡)<br>・駅を基点としたイベント等の企画(駅で物産展、春日温泉)                    |
| 12 | 将来への不安               | ・高齢者の移動手段として確保・維持されているか。<br>(運転免許返納後の交通手段に不安を抱える声が多い)                                |